

# 札幌くらぶ



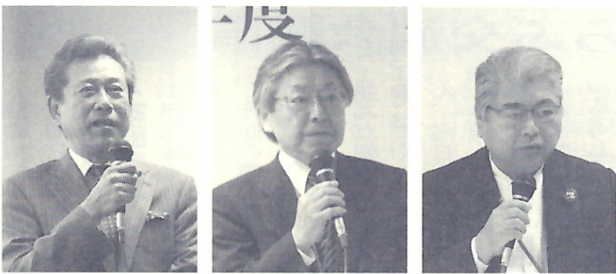
【編集・発行/札幌くらぶ】 064-0931 札幌市中央区中島公園1-15 札幌交響楽団事務局気付  
メール：infomation@sakkyoclub.net  
ホームページ：http:sakkyoclub.net/sakkyoclub/

2014. 7

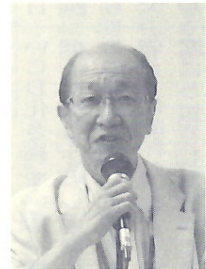
67

## 平成26年度 札幌くらぶ総会の報告

平成26年度札幌くらぶ総会は、前日までの雨も上がり、さわやかな気温の中で、平成26年5月31日土曜日、札幌コンサートホール2階大会議室において、会員115名（委任状を含む。）が出席して、定刻の午前10時30分から定政事務局次長の司会で開会した。



市川雅敏札幌事務局長 小沢正晴札幌専務理事 上田文雄札幌くらぶ会長



議長に就任した朽木尚明氏

議案第1号 平成25年度札幌くらぶ活動報告及び議案第2号 平成25年度札幌くらぶ会計決算及び監査報告の一括審議

「議案第1号 平成25年度札幌くらぶ活動報告」と、関連がある「議案第2号 平成25年度札幌くらぶ会計決算及び監査報告」が一括審議に付され、「議案第1号 平成25年度札幌くらぶ活動報告」及び「平成25年度札幌くらぶ会計決算」は武藤事務局長が議案書に沿って説明、報告し、「平成25年度札幌くらぶ会計決算監査報告」を岸田貴志会計監査からユーモアたっぷりに報告、質疑を求めたが特になく、「議案第1号 平成25年度活動報告」及び「議案第2号 平成25年度札幌くらぶ会計決算及び監査報告」は拍手多数で承認された。議案第3号 平成26年度札幌くらぶ活動計画（案）と案第4号 平成26年度札幌くらぶ会計予算案の一括審議



岸田貴志札幌くらぶ会計監査

「議案第3号 平成26年度札幌くらぶ活動計画（案）」と「議案第4号 平成26年度札幌くらぶ会計予算（案）」が一括審議に付され、「議案第3号 平成26年度札幌くらぶ活動計画（案）」は西川副会長から説明、提案、「議案第4号 平成26年度札幌くらぶ会計予算（案）」は武藤事務局長から説明、提案し、質疑に付され、次のような質疑応答があった。

山上（会員）さんの質疑  
尾高音楽監督が来年3月で退任されること、札幌から発表されました。そして新しい指揮者としてマックス・ボンマーさんが常任指揮者に就任されることが決まりました。  
尾高さんは、常任指揮者時代から17年間札幌を指揮され、今日の札幌を創りあげられました。私たちがその尾高さんに対してお礼の気持ちというか、感謝の気持ちというか、何らかの方法あるいはか



山上光一札幌くらぶ会員

見として述べていただきます。  
それが実現するならば、私たちが全面協力を惜しみません。  
上田会長の応答  
ありがとうございます。とても心のこもった御意見で、大変ありがたく思います。  
もともと札幌くらぶは、Kitaraができる、このKitaraを満席にしようということ、できたわけですが、同時に、札幌に尾高さんがおいでになった。そしてこの17年指導していただいた、ということ、まさに我々の札幌くらぶと尾高さんの歴史というのは、本当に切っても切れない関係ができてきていると思います。そういう意味では、尾高さんに対する感謝の気持ちを我々が伝えるというのは、大変意義深いことだと思います。札幌くらぶの最初のころは、交流会に尾高さんが何度も参加され、楽しいお話をたくさん聞かせていただき、大変魅力的な交流会が持てました。ファンを大事にし

よう、聴衆を大事にしようというお気持ち非常に強い尾高さんでしたので、ぜひ感謝の意を込めて、何か記念になるものを差し上げるなり、メッセージを差し上げるなり、工夫をしたいと思えます。  
尾高さんと札幌との関係では、何らかのお立場にたくと思えますから、縁は切れないわけでありますが、一つの区切りとして、何らかの工夫をするというのは、私も賛成させていただきます。皆さんのご意見をお伺いして、決めさせていただければと思います。  
他に質疑はなく、「議案第3号 平成26年度札幌くらぶ活動計画（案）」及び「議案第4号 平成26年度札幌くらぶ会計予算（案）」は一括裁決され、拍手多数で承認された。

議案第5号 札幌くらぶ役員改選及び運営スタッフの指名  
役員は、会則第9条に基づき、会長 1名、副会長 若干名、会計監査 2名となっていて、選挙で選出することになっている。  
会長、副会長及び会計監査の選挙では、事務局推薦の候補以外に立候補するものはない。  
会 長 上田文雄（再任）  
副会長 鈴木美保（再任）  
西川吉武（再任）  
会計監査 橋詰知善（新任）  
井上明子（新任）  
が、拍手多数で承認された。



平成26年度札響くらぶ総会

続いて、運営スタッフの指名を  
上田会長から次のおり行った。

事務局長 武藤義典(留任)

事務局次長 定政みち子、佐々

木保(以上留任)、佐藤高明、上

野文博、今井康夫(以上新任)

会計担当 中居志津子(留任)

運営スタッフ 深井雅昭、村上

均、前田郁子、有田 宏、朽木高

明、山本洋美、横山章子、鷺頭

隆、米森宏子(以上留任)、神

秀夫、村山英朗、竹林秀昭、竜川

泰良、吉岡葉子(以上新任)

会長代行 鈴木美保(副会長。

留任)

以上をもってすべての議案審議  
が終了し、議長が退任、予定の時  
刻より30分早く閉会した。

(事務局長 武藤義典)

## 平成26年度 札響くらぶ交流会開催

平成26年5月31日土曜日札  
響定期B日程終了後の午後4  
時30分からテラスレストラン  
・Kizaraにて平成26年度第  
1回札響くらぶ交流会が開催  
された。

今回の参加者は、会員では  
群馬県伊勢原市の松原さん、

料理の一品としてテーブルに  
並んだ朝取りのアスパラを持

参してくれた剣淵町の山上さ  
ん、当日入会し、スタッフに

も参加してくれたばかりの齊  
藤さんなど38名、札響からは

小沢専務、市川事務局長、大  
平コンマス、石川Vc首席、

10年ぶりという高橋F1首  
席、河邊Vn、物部Vlaの

7名で総勢45名。  
交流会は、深井スタッフの

進行で進められ、上田会長の  
開会のことば、小沢札響専務

のあいさつ、市川事務局長の  
あいさつに続き、石川Vc首

席の乾杯で開宴した。  
しばらく歓談後、6月1日

のアストル・ピアンラ「四  
季」に出演する河邊Vnから

と、9月22日に石川祐支&大  
平由美子デュオ・リサイタル

を開く石川Vc首席と会員の  
大平由美子さんからそれぞれ

案内され、チケットを求める  
参加者もいた。その後、しば

し歓談し、参加していただ

た楽員の紹介、会員からは会  
報の「演奏会を楽しく聴くた  
めに」を書いてもらっている  
八木幸三さん、本日入会した  
ピカピカの会員の齊藤裕子さ  
んが紹介され、それぞれクラ  
シックへの思いや近況などを  
語ってもらった。

交流会は、その前の第56  
9回定期演奏会(札幌国際芸

術祭2014連携事業)での  
伊福部昭さんのシンフォニア

・タプカーラの旋律の変化と  
終盤のダイナミックな打楽器

に心躍らせ、高揚した気持ち  
をそのまま持つて参加したせ

いと思われ、これまでになく  
華やいで明るく、楽しい雰囲

気に満ち溢れていたことが印  
象的であった。

このような雰囲気の中では  
時間が経つのも早く、終宴の

時間を迎えた。締めは、「ビー  
ルの街札幌」キャンペーンの

テーマ曲として上田会長が歌  
いCD化されている「ブラ

ボー札幌」を合唱して終えた。  
この曲はビールの泡が消えな

いうちに乾杯しようと30秒程  
度にと短くしたそうである

が、コップにビールを注いだ  
ら、早く飲みたいというのは

酒飲み気持ちは、20秒以内だ  
と思うのは私だけか。

(事務局長 武藤義典)



左から、上田会長、小沢札響専務、市川札響事務局長、乾杯の音頭を取った石川Vc首席、進行役を務めた深井スタッフ、「石川祐支&大平由美子デュオ・リサイタル」をPRする大平さんと石川さん



左から、小山内さんと西川さん、伊勢崎市から参加した松原さん、石川さんと武藤事務局長、「ムジカ・アンティカ・サッポロ」をPRする物部さん、入会したばかりの齊藤さん、サッポロスマイルバッチの利用を促す八木さん



談笑する参加者の方々



山上さんが差し入れてくれた朝取りアスパラをレストランが茹でて提供してくれました



上田会長の音頭で「ブラボー札幌」を合唱して締めの乾杯

# 札幌交響楽団新事務局長 市川さん抱負を語る



市川雅敏札幌事務局長

「札幌を愛して、  
演奏を愛して!!」

に師事しました。西高時代の3年間レッスン受けそのまま国立音楽大学入学。卒業の半年ほど前に

就任早々ですが、こんなことやりたいとか、こんなことを考え中とか？

抱負というよりは、私もついこの間までステージで演奏していました。それがオーケストラの運営の中核になってしまったわけですよ。今、その事務局の中に入

て何ができるか、自分のスキルのなさっていうのを感じているところ。譜面は読めますけど、数字の列とか文化庁の書類とかって

いうのとは無縁で、今まで見たことがないわけです。

事務局長という肩書きの立場になりましたけれど、これは、人が認めてくれないと仕事できないわけ、事務局の中でも、市川なら

大丈夫と言ってもらえるようにな

札幌くらぶもできることは沢山協力していきますね。首席指揮者にマックス・ボンマー氏の就任が決まりました。

ボンマーさんに、去年の11月にシューマンのシンフォニー振って

いただきましたけど、あれほど大勢の楽員が気に入った指揮者って

最初の1年間入れると、足かけ38年間ホルン奏者として札幌で吹いていたことになりましたね。

で、ライブツイヒ放送交響楽団首席指揮者の経歴もおもちです。ドイツ音楽だけじゃなく、フランス音楽にも非常に造詣が深く、北欧の音楽も得意なんです。現代曲もとてもいいんです。ポ

らなきゃいけない。まず。そこからですよ。立場が変わって色々なものが見えてくると、出来る事と出来ない事っていうのがわかってくる。

確かに定期会員の皆様の平均年齢があがっているのは事実です。高齢の会員の方もいらっしやいます。定期会員になっていただいても、例えば、雪が降って出られないとか、夜は足元に不安があり、ちよつと帰りが辛いとか、色々な

じゃあ、自分に出来る事は何か、出来ない事は何か、そして何故出来ないのか、何が障害なのかというようなことを自分の中でもうちよつと整理する時期なのかなって今思っているところ

60代、70代の、あるいは80代の定期会員が相当数、私どもの札幌くらぶの会員もそうなんですけれど、結構高齢化を迎えています。確かに定期会員の皆様の平均年齢があがっているのは事実です。高齢の会員の方もいらっしやいます。定期会員になっていただいても、例えば、雪が降って出られないとか、夜は足元に不安があり、ちよつと帰りが辛いとか、色々な

前事務局長の宮澤さんの後ろをついて、その影を追っていくような作業をすると、多分、誰も信用してくれないと思うんです。

札幌くらぶも、主に吹奏楽をやっている中学生を定期演奏会へ招待事業をやっています。

事務局長と

事を感じている方々がいらっしやいます。そういうこともあり、土曜日の公演を1時間繰り上げ、14時には、若い年代の聴衆をふやさなければいけないっていうのは命題なんです。

事務局長という肩書きの立場になりましたけれど、これは、人が認めてくれないと仕事できないわけ、事務局の中でも、市川なら大丈夫と言ってもらえるようにな

札幌くらぶもできることは沢山協力していきますね。首席指揮者にマックス・ボンマー氏の就任が決まりました。

ボンマーさんに、去年の11月にシューマンのシンフォニー振って

いただきましたけど、あれほど大勢の楽員が気に入った指揮者って

いただいたき、本格的にレッスン

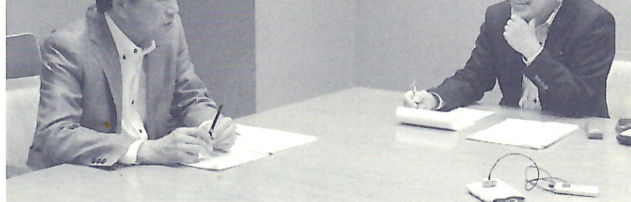
ライブツイヒの新パツハ合奏団を立ち上げた人

席ホルン奏者が入ってきました、直江先生の薦めもあり菅野君(現札幌ホルン奏者)と二人で窪田さ

んに師事しました。西高時代の3年間レッスン受けそのまま国立音楽大学入学。卒業の半年ほど前に

就任早々ですが、こんなことやりたいとか、こんなことを考え中とか？

抱負というよりは、私もついこの間までステージで演奏して



インタビュー中笑顔を見せる市川事務局長と西川副会長

ホルンとの出会いは、ゴロンですか？(笑)

やっあっていくうちに「ああ、おもしろいな」と思ってたんですね、それじゃあ、オーケストラのある高校を受けてみよう、西高を受験しました。西高に入ってから、HBCジュニアオーケストラにも入

事務局長就任おめでとうございます。これまでの経歴を簡単にお聞かせください。

の先生から入部希望者は昼休みに集まれと校内放送が入りましてね、やっってみようかなあと思っ

を受けてみようと思っていた時に出会ったのが、当時札幌で一番ホ

ルンだった直江宣之先生でした。その後、窪田克己さん(元札幌首席ホルン奏者)が入ってきました、

直江先生の薦めもあり菅野君(現札幌ホルン奏者)と二人で窪田さ

今、キララファーストコンサートをやっていますが、最初にやったときに聴いてくれた小学生は、もう社会人になってるんですよ。「ああ、僕、昔札幌聴きました」って言うてる人が、もう何人もいるわけですね。何%かわからないけど、多分、お客さんになってくれている方もいると思うんです。

あのキララファーストコンサートは、上田札幌市長がやってくれた本当にいい事業だったと思っと思います。キタラで、子供が、自分でチケットを切ってもらって、自分のシートを探して座るっていう、本当に演奏会スタイルですよ、それを経験してもらったっていうのは、とても大事なことだと思っています。

札幌くらぶさんからも、青少年中学生招待事業の感想文見ていると、これだったらやってみたいとか、このまま続けていきたいとか、こういう感想文を通してだんだん成長していくんですね。一般の働いている人たち30代、40代はどうですか？



インタビュアー（西川吉武札幌くらぶ副会長）

自分の経験を考えて、やっぱり30代、40代っていうのは、恐らくか、子供もいて、仕事も忙しく

の御招待とか、いろいろ助成いただいてますけども、そういうこともやっぱり大事で、聴いてもらわないとだめなんです。

プラスをやっている子供たちを、プラスの世界じゃなくて、オーケストラの世界も聴いてもらいたいなっていうことで立ち上げたのが札幌プラス。プラスの世界とオーケストラの世界っていうのは結構違うんです。同じ楽器使ってますけれど、弦楽器の有無で世界が違ってますね。プラスで一生懸命やっている子供たちに「ああ、オーケストラもいいもんだなあ！」と思ってもらえるようなプログラムングだったり企画だったり、色々な事やっつけていきたいなと思っっています。

最近では、地域の回覧板を利用してもらって、町内会単位で告知宣伝をさせてもらったりもしています。動かなければ何も始まらないっていう発想で、何でもやってみよう思っっています。

て。その辺の年代の方、30代から40代くらいまでの方が潜在的には一番興味を持っている方が多いと思うんです。なぜ来られないかという原因を考えていこうと思っってます。マスコミも利用しますけども、若い層から40代、50代くらいの方たちの協力ももらって、なぜ、定期演奏会、聴きに行けないのか、行かないのか、この辺のところを、札幌くらぶでも少し議論してみようかという話があつて、一緒にやりましょうよ。



インタビューを受ける市川事務局長

今は選択の時代で、自分の好みでチョイスできるんです。定期演奏会は年間10回ありますよね、この10回聴こうと思う方は、非常にコアな聴衆の方です。普通は、タイトル見て「あ、これいいなあ！私たちの札幌くらぶ会員もふやしていかなきゃいけない、もちろん定期会員もふやす、それが私たちの一番大きなテーマですから、楽員さんとの交流会や札幌くらぶサロンを通して、札幌と市民の接点を創りたいと考えています。

札幌のファンクラブっていうものに対して、札幌楽員はもちろんよく知っていますし、いろいろなことをしていただいているということも、皆知っているんです。札幌くらぶサロンに、ステージ・マネジャーの田中さんが参加されお話しいただいたんですが、抱腹絶倒ですね、竹津先生だとか、いろんな人たちも、もちろんブレトックの八木先生も出てくるし、楽員さんたちも、あるいは事務局の方も、自由に来てお話ししていただければなって思っっています。

この間の総会のあとのパーティーみたいな形式よりも、サロンみたいなところでお話をするっていうほうが、楽員にとつては動きやすかったり話しやすかったりいいかなっていう気もしますね。そういうことをお互いやることで、ますますいい関係になるなと思っます。事務局長が市川さんにかわつた段階で、新たな発展的なことを一緒に組んでいければと思うんです。インタビューもそろそろ時間ですので、最後に札幌くらぶにどんなことを期待しますか？

「僕ももう、そのファンクラブっていうものに対して、期待とくられて、札幌の演奏を愛していただいて、もう、ただそれだけです。「愛情をいただきたい、それだけ」

新事務局長市川さんには、お忙しい会議の合間を縫つてのインタビューでした。最初にホルンとの出会いが「ゴロン」とおいてあつた楽器だったとは！とても楽しいエピソードから始まりました。おおよそ1時間半たっぷりとお話を聴かせてもらいました。紙面の都合ですべてを掲載することができず残念です。新事務局長として皆さんから、大丈夫と認めてもらえ

# 8月〜10月の定期・名曲シリーズ演奏会

## 演奏会を楽しく聴くために

八木 幸 三(札幌響くらぶ会員、北海道作曲家協会会長)

### 第571回札幌定期演奏会

〜早坂文雄生誕100年記念〜  
 8月29日(金) A日程19:00  
 8月30日(土) B日程14:00  
 札幌コンサートホール大ホール  
 指揮/下野 竜也



下野 竜也 ©Naoya Yamaguchi

### ジョン・ウィリアムズ/組曲「スター・ウォーズ」

黒澤明の「隠し砦の三悪党」も参考にした、映画「スター・ウォーズ」の第1作が公開されてすでに40年以上が経つ。このSF映画を音楽で盛り上げたジョン・ウィリアムズは、ワグナーの楽劇のように登場人物や場面を表すライト・モティーフ(示導動機)を取り入れ「スペース・オペラ」と呼ばれるほど充実した音楽をつくりあげた。

■早坂 文雄/交響的組曲「ユイカラ」  
 札幌で青年期を過ごした早坂文雄は、1938年にワインガルトナー賞を受賞したことをきっかけに東宝映画の音楽監督となり、「七

人の侍」をはじめとする黒澤映画や溝口映画の音楽を担当した。純音楽でも西洋とは異なる東洋の美学や思想を打ち出す「汎東洋主義」を唱え、黛敏郎など当時の若手作曲家に大きな影響を与えた。交響的組曲「ユイカラ」は、彼の集大成であり遺作ともなった作品。日比谷公会堂で初演された時、ホールの階段ざわで武満徹が「これは早坂さんの遺言のようだ」と号泣した話は有名だ。

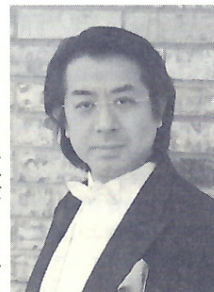
### 森の響フレンドコンサート

#### 札幌名曲シリーズ vol.3

〜巴里のアメリカ人〜  
 9月13日(土) 14:00  
 札幌コンサートホール大ホール  
 指揮/キンボー・イシイ  
 ピアノ/館野 泉

■オッフェンバック(ロザンタール編)/「パリの喜び」より(抜粋)  
 「天国と地獄」など多くのオペラ、オペレッタを残したオッフェンバックは、痛烈な風刺や退魔的な快樂主義を作品に内在させ、当時のパリで大好評をほくす。この曲は、作曲家の代表作の中から選りすぐった旋律がまとめられている。

カ人  
 この曲に乗せ、ジーン・ケリーの華麗なステップがスクリーンいっぱいに弾む「パリのアメリカ人」は、ミュージカル映画の傑作だ。この主人公同様、名声を得ていたガーシュウィンも、パリに渡りラヴェルに会った。ガーシュウィンは、作曲について教えを請うたが、「あなたは、すでに作曲を確立している。私から教えることは何もない。」と答えたという。ジャズの要素をピアノ協奏曲に採り入れたラヴェルは、むしろガーシュウィンから学んでいたのかも知れない。



キンボー・イシイ



館野 泉 (満田聡:撮影)

### ラヴェル/左手のためのピアノ協奏曲

ラヴェルは、2曲しかないピアノ協奏曲を並行して書き、しかも曲の雰囲気は対照的だ。その一曲が左手だけのピアノ協奏曲という異例の作品。ラヴェルは、第一次世界大戦で右手を失ったウィーンのピアニスト、パウル・ヴィトゲンシュタインの依頼でこの曲をつくったが、ラヴェルらしい斬新さが見事に結実した傑作となった。もう一曲の「ピアノ協奏曲ト長調」同様、ジャズの要素が加味されていることも大きな特徴だ。

### ガーシュウィン/パリのアメリカ

■モーツァルト/ピアノ協奏曲第23番イ長調  
 モーツァルトの27曲におよぶピアノ協奏曲というジャンルは彼の作曲人生の大きな幹となつている。特にウィーン時代には、名作が居並び、オペラ「フィガロの結婚」が完成した1786年は23番から25番までのピアノ協奏曲もつくられ、モーツァルト作品豊作の年であった。この第23番も堅固な構成、独奏ピアノとオーケストラ

### 第572回札幌定期演奏会

9月26日(金) A日程19:00  
 9月27日(土) B日程14:00  
 札幌コンサートホール大ホール  
 指揮/児玉 宏  
 ピアノ/田部 京子



児玉 宏



田部京子 ©AkiraMuto

### ブルックナー/交響曲第6番イ長調

交響曲の大作作曲家であったブルックナーだが、以外と自分には自信がなかったのか、交響曲を書くたびに、周囲の批判や忠告を受けて作品を何度も改訂している。ところが、この第6番にはわずかな補筆はあるが、ほぼ原典稿から変わっていない。よほどの自信作であったか、または周囲が忠告をするほど注目されていなかったからだろうか。この作品は、宗教性が全体を支配し、ブルックナー開始やブルックナー・リズムの執拗な繰り返しとワグナーを彷彿とさせる金管の勇壮な響きをはじめ、オルガン風な壮大なオーケストラレーションは、まぎれもなくブルックナー交響曲だ。

### 第573回札幌定期演奏会

10月24日(金) A日程19:00  
 10月25日(土) B日程14:00  
 札幌コンサートホール大ホール  
 指揮/尾高 忠明



尾高忠明 (撮影:浦野俊之)

### マーラー/交響曲第9番ニ長調

マーラーの交響曲を聴くと、何かしら母親の胎内にいるような安らぎと、それとは逆に非日常的なときめき感を交互に与えてくれる。それは、あの耽美的な旋律が、母性的でありながら、さらにはエロシ的でもあるからだ。この「交響曲第9番」は、言うまでもなくオーケストラにとって珠玉の一品とつてよい。この曲は、指揮者とオケとが、厚い信頼関係の上で、はじめて作品の本質が浮かび上がる。十年ほど前に札幌と尾高忠明が奏でた豊饒な「第9番」は、終楽章コーダの最弱奏が、永遠と続く深遠な生命観を感じさせる名演だった。今回もきつと名演が聴けるはずだ。(写真協力/札幌交響楽団)

♪ 楽員さんに 興味津津！ ②

♪ チェロ副首席奏者 武田芽衣さんに聞く

4月定期、エリシユカ氏指揮の悲愴の公演を終えたばかりの武田さんにお話を伺った。開演前には武田さん、青木さん、岡部さん、織田さんのカルテットによるロビーコンサートも行われた。

恩師、徳永先生との出会い

ご出身は？

神奈川です。家は川崎です。実は祖父が神恵内村出身でしたので、北海道にはゆかりがあるんです。でも、まさか自分が札幌に住むとは思っていませんでした。

最初の楽器がチェロですか？

5歳位からピアノをやっていました。何かを表現するのが好きだったのでバレエもやりました。

うちは全然音楽一家じゃないのですが、母がその頃CMに出ていたヨーヨーが大好きだったので、近所のチェロを教えるおばちゃん先生に習いに行くようになりました。

チェロはおいしい！



プロフィール

7歳よりチェロを故徳永兼一郎氏より手ほどきを受ける。その後、毛利伯郎、岩崎洸両氏に師事。桐朋女子高等学校を経て同音楽大学チェロ科首席卒業後、札幌交響楽団入団。現在副首席奏者。昨年秋まで1年間休団、アフィニス文化財団より奨学金を授与され、ミュンヘン国立音楽大学ウェン=シン・ヤン氏のもとで研鑽を積む。これまでに、コンチェルトを桐朋学園大学オーケ、札幌と共演。小澤征爾音楽塾、PMF、アフィニス夏の音楽祭、宮崎国際などに出演。カメラータ札幌メンバー。

♪ あこがれの地、札幌へ

最初に札幌に来たのは？

12歳の時ですね。子どものためのチェロのコンクールで全然ないので、札幌ジュニアチェロコンクールを受けに来て、第6回の最優秀賞を受賞しました。今はもう

無くなっちゃったのですが、登壇的なコンクールで、文屋さんが審査員をしていたんですよ。次に札幌に来たのは？ PMFですね。大学2年かな？

の人間は北海道に憧れがあるんです。芸森もすごくきれいで、ヨーロッパにきたみたいだなと思いました。PMFもとても良かったです。大学卒業後、エキストラで色々な所へ行くようになり、札幌にもよく来ていました。オーディションがあるというのを聞き、ちょうど、そろそろオケに入らないかと...と

思っていたので受けました。

札幌の印象は？

札幌はレベルが高いというのは知っていたので、入りたいというのはすごくありましたね。団員さん達の雰囲気も良くて、東京のようににぎすぎすしていない。入ったからも本当に伸び伸びやらせていただいています。同期や若い子が多いので、アンサンブルもいっぱいだったり、本当に楽しいです。

初めて札幌で弾いたのは？

2009年の5月、シエレンベルガーの指揮で、ベートーヴェンの1番か2番だったと思います。忘れもしない、その最初の最初の練習に遅刻しちゃったんです。

私、交通トラブルで遅れちゃって、急いでキタラに行ったらもう練習が始まっていたんです。「すいません...」って。「すごい子が入ってきたぞ、初日から遅刻してくる、何だ？」みたいな...。その初めての演奏会がすごく良かったんです。弦が本当に良くて、泣きましたね。



7歳の時、初めての発表会

念願のミュンヘンに留学

留学のいきさつは？

入ってよかった！と思いました。入ってよかった！と思いました。入ってよかった！と思いました。

実は大学の時に一度、徳永先生の先生だったワルター・ノータスに習いたくてミュンヘンに行つたんです。ミュンヘン音大ですと教鞭をとっていらつしやつた方で、やっぱりルーツはそこにあると思つたので。でも、もうお年で教えられないと言われ、若い先生を紹介してもらつたのですが、魅力を感じなくてやめたんです。

だから、ミュンヘンにはずつと思いがあつたので、アフィニス文化財団のオーディションで選ばれて行くことになった時は嬉しかったですね。

ドイツでの1年間は？

初めはやっぱり語学が大変でした。みんなに、そんなんじや絶対だめだよって言われたにもかかわらず、観光地だし英語が出来れば大丈夫だろうと全然勉強して行かなかつたんです。そしたら本当に泣きましたね。

ドイツ語しゃべれないんだつたら帰んなさい、みたいな感じでしたが、と言われたり、郵便局で怒鳴られたり、結構つらかったです。

音大生ばかり住んでいるムジークボーンというアパートメントに住んでいました。狭いし古い汚いし、本当に学生に戻つたんだという感じがしましたね。

それまでは演奏活動に追われて、こなして、仕事をして...それがいきなり学生に戻つたので、学生ってこんなに暇だったっけ、と思いました。自分と向き合ったり、音楽の事を色々考えたりという時間がたくさんあつたのが良かったですね。

楽しかった思い出は？

私の滞在中に今日のカルテットの3人もミュンヘンに来たんですよ。ヴィオラの青木さんがドイツにいた時の恩師、モーク氏がギリ

シヤのクレタ島に別荘を持っていて、レッスンがてら遊びに来なさいと言つて下さつて、4人でレッスンを受けた行つたんです。半分、遊びですけど。

モーク氏は怖かったです、結構。でも、すごく温かい方で、奥さんも面白い方でしたね。そこで年越しをして、とてもいい思い出です。

### ♪ 歴史の違いを感じて

ドイツと日本の違いは？

日本にいる時は、ヨーロッパはヨーロッパで思つていて、そんなに違いがわからなかったんですが、住んでみるとそれぞれお国柄が全然違う。街並みはそんなに変わらないんですけど。

チェロも全然違いました。日本も技術的なレベルではほとんど差がないんですが、音楽の教育システムとか先生達の考え方とか、やっぱり歴史の違いを感じることはたくさんありました。

留学の一番の収穫は？

耳が肥えたことですかね、腕はどうかわかりませんが…

それは、毎日のように演奏会を聴きに行ったからだと思います。ミュンヘンは学生に本当に優しい町で、色んな割引があつて交通費から何からはとんだきたい。だから、ドイツには長く学生をやつていく人が多いんですよ。演奏会も学生券はものすごく安いので、オペラにもたくさん行きました。駆け込みで行くと、「君、学生でしょ？いいいいよ、入つて

プラハのエリシユカ氏にも会いに行つたんですよ。エリシユカ氏はすごく声が大きいし、こつちが付いていけないくらい元気。今日の「悲愴」もそうでしたが、チェコの方は独特で、音の感じ方とか何か違いますね。チェコの民謡みたいなのが染みついていて感じがします。

いいよ」と言われたこともありました。若い人に対しての文化的水準が高いな、こういうところで勉強していたら違うだろうなと思ひましたね。

エキストラでレーゲンスフルゴオペラ座に



特にミュンヘンには、一流の指揮者やソリストがしょつちゅう来るので頻繁に聴けるんです。私はオーケストラプレイヤーなので、オーケストラをたくさん聴けたのが本当に勉強になりました。ミュンヘンにして良かったなと思ひましたね。

ご自身の演奏も変わりましたか？

弓の事や弾き方を一年間みっちり直されました。20年間やってきたものを1年で直そうというのになかなか大変でしたね。最後の最後に先生から「僕は少し良くなったと思うけど、どう？」と言われました。

### チェロは美味しい楽器！

チェロの魅力は？

ヴィオラほどマイナーではなく、コントラバスほど裏方でもなく、ちょうどいいセクションかな。札幌ユニーターのシントラウスでも、セカンドとヴィオラはずつとウンチャツチャだけ、チゴはほどよくウンチャツチャの後にメロディがあつて、結構いいところで弾けるので楽しくて飽きることがないですね。

オケの中でもチェロが美味しいメロディを弾いたり、ソロで弾いたりする場面も多いのでチェロで良かったなと思つています。チェロ奏者には寿命が長い人が多いですよ、カザルスとか。だからチェロは体にいいんじゃないかな。胎教にもいいんじゃないかと。チェロはヴァイオリンなんかと比べると姿勢もわりと自然だし、演奏家人生が長く保てる楽器なんじゃないかと思ひますね。

ぜひ、趣味にはチェロをどうぞ！  
チェロは重そうですね

ケースを入れて5、6キロですかね。今は軽くなったんですよ。私が学生だった頃はもっと重いケースしかなかった。8キロ位。今はすごくいいのが出て、F1

のボディと同じ素材で出来ているんですけど。だからつぶれなくて丈夫だし軽いし、画期的でした。東京に住んでいた時は電車移動が大変でしたね。満員のところへこんなの持つて入るから、おじさん達に、「なんでこんなの持つて入るんだよ」と白い目で見られて飛行機も大変です。1席取らないから、AB券という楽器を乗せるための料金システムがちゃんとあるんですがお金がかかるんです。

### 結婚しました！

余裕の時間にはどんなことを？

2月に結婚したんです。だから色々慣れない家事をしたりしています。彼は音楽家ではないですけど、音楽が大好きで札幌ファンの人です。

私、無趣味なんです。学生の時から室内楽ばかりやっていてそれが趣味みたいな感じ。結局、好きな作曲家は？

### ♪ クラシックを身近に！

好きな作曲家は？

ロマン派が好きですね。ブラームスとかシューマンとか。ロシアの作曲家も好きです。チャイコフスキー、ラフマニノフ…

ミニコンサートをする時はポツプスなどもわかりやすいかなつて思つて入れています。

そういうクラシックに対する感覚は向こうは全然違うなと思ひます。本当に身近なものなんです。そこが歴史の違いなんだろうな



留学中たびたび訪れたイタリアにて

ますね。これからが楽しみです。札幌くらぶでも市の福利厚生会からの支援金で中学生を定期に招待する取り組みをしています

どんどん聴きに来てほしいですね。1回行ったコンサートの印象がきっかけになるかもしれない、それって大事ですよ。私達プレイヤーも、その時その時をきちんとやっていかなければと思ひます。

地方公演も大事にしていきたいですね。北海道は広いから、札幌に来られない人も多いですね。札幌くらぶサロンでは、過去の札幌の演奏を聴く企画をしています。聴いてみたい演奏があれば札幌50年史を見たら今よりも有名人がいっぱい来ていたんですよ。やっぱりチェリストの演奏を聴いてみたいですね。

札幌くらぶサロンや交流会にもいらしてお話して下さい。はい、面白そうですね。ぜひ参加させていたただきたいと思ひます。

これからの活動の予定は？  
チャンスがあればいろいろ挑戦して行きたいと思ひます。ソロや室内楽もやって行かないと、オーケストラをやっていく上でもブラッシュアップにならないと思うので、これからも積極的にやっていきたいと思ひます。

(2014年4月12日 テラスレストラン・スタジオ)  
インタビュー／神、上野、中居 編集／井上、村山、中居

## 札響物語 66

## 札響の50年を振り返る(8) 練習場

(真駒内時代6、指揮者 朝比奈 隆)

竹津 宜 男(札響くらぶ会員)



第1期黄金時代とも呼べる、練習場が真駒内に移ってからの時代、登場した大家達は枚挙に暇が無い、次後回しにして7月生まれの指揮者、朝比奈隆の思い出話を…。

大阪フィルハーモニー交響楽団の創立指揮者、ブルックナー指揮者として世界にその名を知られている朝比奈隆は1908年

(明治41年)7月9日東京生まれで旧東京高等学校から京都大学を卒業した人である。札響も10回指揮した。完全な関西弁なので関西の人と思ひ込んでいたらご本人から東京で育ったと聞かされ思わず「エー本当ですか」と聞き返したほどである。

有名人なので関西ではいつも緊張していて東京や札幌へ来ると少しのんびり出来るということだった。徹底した関西びいきで大阪フィルの東京公演の時、住友グループの伊部が京都大学の友達なので「ちよつと頭を下げにおいて」と言われて頭を下げたら大金が集まり金集め公演

だった、あんたも札幌交響楽団をつれて東京公演をやんなはれ、と言われた。京都大学法学部を卒業後阪神急行電鉄(現在阪急電鉄)に入社、車掌や運転手をした。「なしろスピードメーターがなかったものだから枕木が一分間に通る過ぎる数で電車のスピードを覚えなければならなかった」と楽しそうに話していた。

京都大学のオーケストラでヴィオラを弾くのが目的で京都大学に入ったようだ。満州へ渡りハルビン交響楽団を指揮して終戦を迎えた。戦後の混乱期は韓国音楽界の父と言われる指揮者で朝比奈の唯一の弟子、林元植に一年以上もか

くまわっていたと林元植が教えてくれた。音楽とは関係ないが朝比奈も林もサッカーが大好きで林は韓国サッカー協会の理事も務めていた。まだそれほど有名ではなかった69年(59歳)の朝比奈は創立8年目の札響に初めて登場した。上手と言える指揮者ではなかったが第84回定期演奏会でのシベリウス交響曲第2番を聴いた

人達たちは素晴らしいと感動を語っていた。3年後の第120回定期でのシューマンの交響曲第2番も好評だった。この演奏会での協奏曲はピアノの荒憲一(アラケン)でブラームス、ピアノ協奏

曲第1番、これが大変だった。指揮に合わせるとソロとうまく合わない、さりとてピアノだけに合わせられるような音楽ではないためステージ練習が終って朝比奈が楽屋へ帰った後、ステージの上でソリストも入れて相談が始まった。「大雑把には指揮者に合わせる、細かいところはコンサートマスター

佐々木一樹が少し大きさに弓で合図をする」ことで演奏会に臨むことになった。演奏会はアラケンと朝比奈の熱演で大いに盛り上がり成功裏に本番を終えることが出来た。楽団員もアラケンも満足の笑顔だった。3年後、75年ベートヴェ

ンの「第九」で登場した。会場は北海道厚生年金会館と室蘭文化センター、主催はそれぞれ音楽鑑賞協会と振り返ってみると労音から名前を替えた音楽鑑賞協会と民主

音楽協会が競って「第九」の演奏会を行っていた時代であり朝比奈隆と大阪フィルハーモニーは毎年20回を越す「第九」演奏会をこなしていた。日本一「第九」の演奏回数が多い指揮者の「第九」はさすがだった。

78年(70歳)第188回定期演奏会ではブルックナー交響曲第4番「ロマンティック」を、82年(74歳)第226回定期演奏会ではブルックナー交響曲第0番とブラームスの交響曲第2番を指揮した。既にブルック

ナー指揮者として世界的に名を馳せていた。練習中「ブルックナーの交響曲はお客さんも我慢して聴いてくれてるんだから演奏する皆さんも大いに我慢して演奏して下さい」と笑わされた。豪放磊落な人柄で昼食を一

緒している間も大声で笑いながらしゃべりまくり口から米粒が飛び散る有様、当然上着の襟も米粒だらけ、終ったらそのまま立ち上がって出ようとするのであわてて襟に付いている米粒を取らなければならなかった。その後約20年にわたって活躍しシカゴ交響楽団も指揮された。93歳の時ピアノの小山実稚恵と共に演奏した演奏会の後入院そのまま亡くなられたそうだ。

## ムジカ・アンティカ・サッポロ vol.15 宗教曲はコンサートホールか教会か？ 贅沢な悩みだが…

5月26日(月)19:00、ギター小ホールにムジカ・アンティカ・サッポロの第5回演奏会を聴きに行ってきました。古楽(宗教曲)が好きでこの演奏会も3回目ですが今までは教会が会場でしたので初のキララ公演となります。今回の一番の楽しみはなんと「初めの一の楽の楽しみはなんと」とも「ベルゴレージの「スタバート・マテル」です。大好きなテーマの曲で、他にもパレストリーナやヴィヴァルディ、オペラチックなロッシニやヴェルディ、そしてドヴォルザークや現代の作曲家までいろいろとCDで聴いてきました。が、一番はこのベルゴレージです。札幌で全曲聴ける事はあまりないので、会場は満席のようでした。開演前にリーターの物部さんが中心となってプレトークがあり、古楽器の特徴についてのお話がありました。

第一部では、内藤さんのバロックトランペットが活躍する曲で進められ、ヘンデルの歌劇「セルセ」では序曲とレチタティーヴォと有名なアリア「オンブラ・マイフ」の3曲が続けて演奏され、ピアノの伴奏単独で聴くものとはまるで違い素晴らしいものでした。

第2部は、いよいよ全12曲からなる「スタバート・マテル」です。第1曲が静かに始まってなんともいえない柔らかい深みのある音にすぐに引き込まれ、中でも一番好きな第8曲はソプラノの阿部さんとアルトの駒ヶ嶺さんの二重唱「わが心がそのみ心にかなうべく」にはとても感動しました。控えめな古楽器の音色がキララ小ホールで豊かに響き、最後はアーメン・アーメンで終演となりました。やはり聴きに来て良かったなあと思ひながら周りを見渡すと皆さんそういう表情をしていました。

この大曲の後になんとアンコール演奏も!! それも一番感動した第8曲が演奏されたのです。まるでマチネで聴き、また、夜も聴いたのごとく。お徳感もいっぱいの演奏会でした。

友情出演なのかパーカッションに武藤さんが出ていたり、ステイジマネージャーの田中さんが活躍していたりと、札響ファンとしてはとても居心地が良かったです。このキララ小ホールでの演奏会は大満足でしたが、過去に2回聴いた教会での独特の雰囲気とそこから感じられる響きもやはり素敵だなあ、うちがいろいろかな、と悩みながら家路につききました。(上野)



# 白子 正樹さん (クラリネット)

3月9日(日)、久しぶりの井関楽器のスタンウェイスタジオ、今日の出演は札幌クラリネット副首席の白子正樹さん、白子さんのクラリネットを聴くのは札幌定演は別として、2回目になる。最初は昨年12月25日のXmas Live

## ミニコンサート Vol.20・21 in Steinway Studio

Night 2013のジャズ。ジャズも素敵であったが、白子さんの本命はクラシック。今日はその本命のクラシック、ピアノの新堀聡子さんとのデュオコンサートだ。

2曲目は、ホロヴィッツのソナチネ。ソナチネとは演奏しやすいソナタの小品を指すようになったことである。快適な演奏から急に進んだり、静かになったり、



白子正樹さん(右)と新堀聡子さん(左) (写真提供/スタンウェイスタジオ)

歩いているようなテンポになった

### 岡部亜紀子さん (ヴァイオリン)

雪も溶け、暖かさが感じられる4月13日、楽しみにしていたコンサートということも有り、足取りも軽やかに会場である井関楽器スタジオに向かいました。

この日は岡部亜希子さんと新堀聡子さんのピアノによるミニコンサート。着いた時には入場待ちの列、聞けば直前の合わせをしていると、本番に向け妥協なく取り組む姿が垣間見えました。当日のプログラムはドヴォルザークの4つのロマンティックな小品 op.15より第1番、モーツァルトのヴァイオリンソナタ第34番変ロ長調 K378、最後にラヴェルのツイガムでした。

りとピアノの演奏も素晴らしい。それに乗ってクラリネットもロマンティズム溢れる演奏だった。

3曲目は、シューマンのアダージョとアレグロ op.70。この曲はホルンとピアノの曲として作曲されたものを、クラリネットやチェロに編曲されたものとことである。演奏は、ゆっくりと静かに、静かな湖のほとりにいるよう聴かせてくれた。

コンサートを終えて会場を見渡してみると、ほぼ満席となっていたようでした。コンサートを聴きに来た方々も満足した、ということも良い表情をしていた。(武藤)

1曲目はロマンティックの名通りの叙情的な旋律で、ダイナミクスたっぷりの演奏でした。弾く姿、音を見聴きすればするほど、感情が音を通して体全体に飛び込んでくる感覚です。

1曲目を終えた後、岡部さんから選曲についてお話がありました。札幌ももう春ですね、とイメージしてこの曲を選びました、ファーストアルバム「Spring」の収録曲でも有り感慨深いです、といったお話を聞きました。ミニコンサートでは、こういった選曲に掛けた気持ちや、曲にまつわるエピソードなどを楽員

の方から聞けることも、個人的には大きな魅力です。

最後の曲ツイガムでは、前半とは一転して、技巧のオンパレードでの怒涛の独奏部が出だしから続き、前半とはまた違ったヴァイオリンの魅力、奏でられる音楽に一気に飲まれてしまいました。アンコールはモーツァルトと同時代の女性作曲家、バラデイスの作品でした。

終演後は岡部さんと新堀さんが皆さんをお見送りしており、お話しすることもできました。こういった聴き手と奏者の距離感もミニコンサートならではですね！演奏を思い返しては春を感じつつ、気分良く帰途につきました。

とても楽しませていただきました。ありがとうございました。(竜川)

この日は岡部亜希子さんと新堀聡子さんのピアノによるミニコンサート。着いた時には入場待ちの列、聞けば直前の合わせをしていると、本番に向け妥協なく取り組む姿が垣間見えました。当日のプログラムはドヴォルザークの4つのロマンティックな小品 op.15より第1番、モーツァルトのヴァイオリンソナタ第34番変ロ長調 K378、最後にラヴェルのツイガムでした。



岡部亜希子さん(左)と新堀聡子さん(右) (写真提供/スタンウェイスタジオ)

## 室蘭市民オーケストラ 名曲コンサートを開催して

5月17日に室蘭市において、「室蘭市民オーケストラ名曲コンサート」が行われました。ソリストに札幌トロンボーン首席奏者の山下友輔さんをお招きして、フェルディナンド・ダヴィッド作曲のトロンボーン小協奏曲を演奏していただきました。めずらしい曲ではありますが、全3楽章で15分ほどの、なかなか楽しい曲です。リハーサルが始まると、山下さんは所々で演奏を止め、オーケストラに細かく注文をつけます。「2楽章は葬送行進曲だから、もっと暗い感じで」「ここから楽しかった時の事を思い出したように、少し明るく」「ここはもっと遅く」最後は弱く」等々、てきぱきと指示が飛びます。本番中はどうしても緊張が先に立つのですが、はたしてオーケストラは思いどおりに演奏できていたのでしょうか。

協奏曲が終わった後もステージに残ってもらい、室蘭市民オーケストラ恒例の楽器紹介というのをいたします。これは、毎年ひとつの楽器を選び、曲の中でその楽器が一番活躍する部分を紹介するというものです。今回は、「ボレロ」「ブラームス作曲交響曲第1番第4楽章」「タンホイザー序曲」の中で、トロンボーンが一番目立つ所を吹いていただきました。その後もオーケストラのみで、「はげ山の一夜」「ファウストのバレエ音楽」などを演奏いたしました。会場はいつも以上に増して大入りの大盛況でした。これも、札幌からのゲストのおかげと深く感謝しております。そして、11月にはまた、札幌からソリストをお招きしての演奏会を予定しております。どうぞお楽しみに。(白旗さつき)



札幌トロンボーン首席奏者 山下友輔さん

## 第6回札幌くらぶサロン開催の報告

第6回札幌くらぶサロンが、3月29日(土) 17:30より札幌市教育文化会館402号室で32名が参加して開催されましたので、その様子をご報告致します。

第1部は「札幌定期演奏会プレトーク 札幌くらぶサロンで復活!!」、お話は北海道作曲家協会会長の八木幸三先生をお招きして、今年の定期の前半より3曲についてたつぷりとお話を伺う事ができました。内容は、5月定期の「伊福部昭 生誕100年記念」と6月定期の「ヴェルディ レクイエム」、そして8月定期の「早坂文雄 交響的組曲ユーカラ」について、テンポ・ルバートでスーパード・ジョーク満載の楽しくて為になるお話でした。特に北海道出身の伊福部さんについてのお話はゴジラのテーマの生い立ちなど貴重な音源をたくさん準備いただいてそれを聴きながら、作曲家の先生ならではの視点からお話いただきました。



八木幸三北海道作曲家協会会長(札幌くらぶ会員)

## 3月16日 札幌シンフォニック・ブラス スペシャル・ブラスの熱演に拍手

第2部は「札幌アーカイブシリーズ 札幌定期演奏会プログラムより」で、曲目は4月定期の「ペルリオーズ 序曲ローマの謝肉祭」を第141回定期より、同じく4月定期の「チャイコフスキー 交響曲第6番悲愴」を第75回定期より、そして9月定期の「ブルックナー 交響曲第6番」を第148定期より集めました。ナビゲーターを竹津宜男さんをお願いしましたが、ご自身のホルンが大活躍した時代の録音だったので、想いのこもった素敵なお話でした。

第3部は「交流パーティー」、ゲストの八木さんご挨拶と乾杯で始まり冷たいビール・美味しいワインとオードブルをいただきながら札幌と音楽をいっばい語り大いに盛り上がりました。

この会報誌が届く頃には4月と5月と6月の定期演奏会が終わっている頃だと思いますが、今回のサロンに参加した事で、いつもより充実して楽しんで帰ることができていたら嬉しいなと思います。定期演奏会後半についても9月6日(土)開催の第8回サロンに同じく八木先生をお招きして開催しますので、こちらも楽しみにしててください。

札幌スペシャル・ブラスは、札幌の管打楽器群とコントラバスに加えて、サクソフォーン、ユーフォニアム、クラリネットなど約20名の客演奏者を迎え入れた特別編成のブラスバンドである。この10周年記念演奏会には、藤野浩一を編曲・指揮者として招聘し、去る3月16日の午後、キタラの大ホールで開催された。

オープニング・ファンファーレは、パイプオルガン前の舞台前列席に陣取った特別協演の北海道教育大学岩見沢校と札幌大谷大学のトランペット専攻生によるジョン・ウイリアムズ作曲の「ロス五輪のためのファンファーレより」であった。2大学21名の大編成であっただけに楽器の構え方など演奏仕草に統一を欠いたのは残念であるが、演奏そのものは記念演奏会の幕開けに相応しいものであった。

第1部のスペシャル・ブラス・ステージでは、ミュージカルなどの名曲が揃い、その中で、フルーと首席の高橋聖純、トロンボーン首席の山下友輔にはソロを楽しませてもらった。サクソスのゲストとしては、つづらのあつし(神戸生まれ、大阪音楽大学卒、クラシックからジャズまで幅広いジャンル

の演奏家)が登場し、ハーレム・ノクターンほかを聴かせてくれた。ジャズの技法を駆使し、美しい音色と多彩なアドリブで飾られた壮絶な演奏だった。

第2部のオーケストラ・ステージは、グレン・ミラーのムーンライト・セレナーデが始まった。札幌はフルメンパーに近い編成で、コンサートマスターは大平まゆみであったが、ブラスの音に圧倒された感があった。

トランペットのゲストとして迎えられた世界レベルの名手、エリック・ミヤシロ(ハワイ出身の日系米国人、日本国内のオケとの協演も多い)は、トランペットの妙技をホール一杯に繰り広げ、ウォーレン作曲のザ・モア・アイ・シー・ユーでは、ダブルタンギングを織り交ぜた超絶技巧を披露した。また、ミヤシロと札幌のトランペット4人全員との協演は、胸の透き徹る響きを轟かせていた。

札幌ファンも札幌ブラスバンドとなると足が遠退くように見えるが、いかがでしょうか。当日は、客席に空席が目立ったが、ゲストも含め、たいへん熱演であっただけに札幌のクラシックファンにもぜひ聴いて欲しかった。

近代美術館のホールで、札幌交響楽団首席、副首席奏者のコンサートがある事を知り、全ての家事を後回しにして出かけた。早目に出たはずなのにホールはウィークデーにも関わらず中高年の紳士淑女でいっぱいでした。そういう私も立派な中高年ですが、今回は打楽器奏者も出演なるといので楽しみにしておりました。楽器と奏者の説明の後、曲目の説明がありました。R・シュトラウスの「もう一人のティル・オイレンシュピーゲル」は、主人公がホルンで登場したずら好きな人物像を五重奏で奏で、さすがだなあと素人の私は「とりこ」になってしまいました。ストラヴィンスキーの「兵士の物語」は、ロシア先住民族の民話をもとに作曲されたそうです。兵士の行進曲は兵士がヴァイオリンを持って意気揚々と故郷に帰る曲です。小川のほとりや田園を通るのですがこの時、悪魔に会い、ヴァイオリンを盗られてしまいます。

失意の中故郷へ帰ろうとするのですが、途中で王の行進にあい音楽会に誘われ、王女とダンスを楽しみます。そこへまた、悪魔が現れ兵士は上手くヴァイオリンを取り返します。

## 札幌交響楽団首席、副首席奏者によるミュージアムコンサートを聴いて

兵士は王女と親しくなりヴァイオリンも取りもどし両方を手にして喜びますが、この悪魔がしつこくずるがしこいので再び、ヴァイオリンを盗られてしまい最後は悪魔の喜びの行進で終わります。結局、兵士はヴァイオリンを失い、王女も失うことになってしまいました。どの国にも二兎追うもの一兎を得ずということわざに似た民話があるのだと思いました。

札幌首席、副首席の演奏の表現力は素晴らしい！

また、曲の情景がリアルに目の前に広がりました。今後もこのような演奏会を聴いてみたいです。帰り路は、幸福！幸福！！

(横山章子)

オーケストラの日(近代美術館)の演奏

(写真提供/札幌交響楽団)



オーケストラの日(近代美術館)の演奏  
(写真提供/札幌交響楽団)

# 会員に対する会報に関するアンケート集計分析結果

## アンケートに見る会報の今後の方向

昨年10月下旬に発行した会報第64号にて実施した「会員に対する会報に関するアンケート」の回答は46通(うち署名された回答は31通)、回答率としては13%程度と決して高くはないのですが、そこから今後の会報の編集のあり方を読み取る事ができました。

「会報」に対する「アンケート」集計分析結果

別表1

質	問	集計
Q1 会報「札幌くらぶ」をお読みいただいていますか？		
1	毎号読んでいる。	41
2	たまに読んでいる。	5
3	ほとんど読んでいない。	0
Q2 お読みいただいて、ページ数ないし情報量について、どのような感想をお持ちですか？		
1 ページ数について		
①	多い。	1
②	ちょうどよい。	44
③	少ない。	1
2 情報量について		
①	多い。	4
②	ちょうどよい。	38
③	少ない。	4

別表2

質	問	集計
Q3 いつもお読みいただいている記事ないし楽しみになっている記事には、○印をつけてください(複数回答可)。		
1	巻頭(特集)記事	22
2	演奏会を楽しく聴くために	24
3	札幌物語	31
4	随想 本棚の隅から	14
5	札幌の演奏会に関する記事	28
6	楽団員の活動に関する記事	25
7	札幌くらぶの活動に関する記事	18
8	各種コンサート情報	18
9	編集後記	11
10	その他	2
i	「中学校からの手紙」に感激します。	1
ii	札幌以外の札幌の活動を紹介して欲しい。	1

別表1のQ1の「会報「札幌くらぶ」をお読みいただいていますか？」では、「毎号読んでいる」は41、「たまに読んでいる」は5、「ほとんど読んでいない」は0、「ほとんど読んでいない」は5、「ほとんど読んでいない」は5、

「多い。」は4、「少ない。」は1、「情報量について」では、「ちょうどよい。」38、「多い。」は4、「少ない。」は4、

「演奏会を楽しく聴くために」が4割以上、総体的に現在の記事が4割以上の期待を集めていることが判り、「その他」として、「中学校からの手紙」に感激します。別表3のQ4の「今後掲載した方がいと思う記事は何ですか？」(複数回答可)では、「楽団員の紹介」32、「専門性の高い記事(作曲家、演奏家、楽器にまつわる内容等)」25、「クイズ、パズルなど娯楽の要素のある記事」3、

別表3

質	問	集計
Q4 今後掲載した方がいと思う記事は何ですか？(複数回答可)		
1	楽団員の紹介	32
2	会員等の投稿記事	13
3	専門性の高い記事(作曲家、演奏家、楽器にまつわる内容等)	25
4	クイズ、パズルなど娯楽の要素のある記事	3
5	その他	7
①	今後の予定一覧	1
②	作曲家について	1
③	今のままで満足しています。	1
④	懸賞・賞品は高額でなくてもよい(楽員の寄付など)。	1
⑤	他では得られない楽員の情報	1
⑥	札幌への提言	1

「今後掲載した方がいと思う記事は何ですか？」(複数回答可)では、「楽団員の紹介」32、「会員等の投稿記事」13、「専門性の高い記事(作曲家、演奏家、楽器にまつわる内容等)」25、「クイズ、パズルなど娯楽の要素のある記事」3、「その他」7、「今後の予定一覧」1、「作曲家について」1、「今のままで満足しています。」1、「懸賞・賞品は高額でなくてもよい(楽員の寄付など)。」1、「他では得られない楽員の情報」1、「札幌への提言」1

これを踏まえ、編集作業にあたっては、専門知識を有する会員や執筆者を探し出したり、テーマを決めて会員に記事の作成を募集したり、お願いするなど工夫をしていくこととします。

(事務局長 武藤義典)

「各各種コンサートに関する記事」18、「各種コンサート情報」18、「随想」18、「本棚の隅から」14、「編集後記」11、

「曲」7、「随想」7、「旅行」6、「俳句・短歌・詩」0、

「曲」「随想」「旅行」などをテーマに書きたいと19人(アンケート項目にはないが、投稿したいと寄せられたハガキ枚数の数字で)

この結果、現在のページ数、記事数、内容を維持しながら、「楽団員の紹介」(第66号から掲載を始めている)、「専門性の高い記事(作曲家、演奏家、楽器にまつわる内容等)」など新たな内容の記事の掲載も求められ、機会があれば自分も記事を書きたい、あるいは書くことに対する不安が解消されれば書いてもいいという会員が多

別表4

質	問	集計
Q5 会報への投稿についてお伺いします。		
1 投稿したいと思っている。投稿したい記事の分野を選んでください(複数選択可)。		
①	コンサート	11
②	楽器	1
③	曲	7
④	随想	7
⑤	旅行	6
⑥	俳句・短歌・詩	0
⑦	その他	4
i	体調により余りコンサートに行けません。	1
ii	書き方が判りませんが。	1
iii	文章に自信はありませんが。	2
2 投稿したいと思わない。その理由をお書きください(複数選択可)。		
①	文章に自信がない。	13
②	どんなことを書いていいか判らない。	17
③	関心がない。	4
④	その他	1
i	皆様のレベルが高いので勉強中です。	1

不安が解決すれば投稿してもよいに変わると感じました。

# 随想 本棚の隅から 8

夏が来る、一瞬に過ぎて行く夏。P.M.Fオーケストラの指揮にロリン・マゼールが来る、彼も相当の齢だろうな、1930年生まれってことは84歳なのにはるばる日本まで来られるんだ…さてよ、我われのエリユシカさんだつて同じくらいなのに、あんなに素晴らしい指揮をするではないか！

ロリン・マゼールは1980年ウィーンフィルハーモニーとともに来日した。その時のプログラムは私がつけている物の中で一番立派で派手だ、セルリアンブルーの表紙は本棚の中で目立っている、確か有料だったと記憶しているが？


一冊いくらだったかは忘れた。ウィーンフィルハーモニー管弦楽団日本公演

1980年11月14日(金) 6:30 p.m.開演

北海道厚生年金会館

ベートーベン交響曲第6番「田園」

## 竹津宜男さん逝去



札幌交響楽団、元ホルン奏者、元事務局長を歴任し、創立にも係わり、副会長、顧問を務められ、北海道国際音楽交流協会創立に参加し、副理事長を務められ、北海道のクラシック音楽発展に尽力されました。竹津宜男さんが、7月5日午後10時16分、79歳の生涯を閉じられました。謹んでご冥福をお祈りいたします。(事務局 武藤義典)

ルズのジョン・レノンが射殺された。そんなことのある年だった。遠い昔のようであり、それほど

## スタッフの活動報告 (4月～6月)

### ●札幌市内中学校吹奏楽部札幌定

期招待事業  
4月12日(土) 14:00～16:00  
札幌コンサートホール大ホール  
担当/佐藤事務局次長

第568回定期演奏会B日程に、清田、宮の森、東栄、中の島の4中学校、生徒107名、引率4名、計111名を招待しました。

●平成25年度札幌くらぶ会計監査実施  
4月17日(木) 18:00～20:00  
札幌四季法律事務所会議室  
担当/出席者/事務局長他2名  
岸田、前田両会計監査による平成25年度札幌くらぶ会計監査を実施、承認されました。

●会報「札幌くらぶ」第66号発送作業&第1回札幌くらぶ運営会議開催  
4月25日(金) 15:00～20:30  
札幌コンサートホール2階大会議室  
担当/出席者/事務局長他13名  
会報「札幌くらぶ」第66号を800部発行、会員、札幌関係、報道関係などに約650部発送作業をしました。引き続き平成26年度第1回札幌くらぶ運営会議を開催しま

前のことでもないような…。ひそかな思い出を手繰りながら、感慨に耽る。(井上明子)

### ●札幌市内中学校吹奏楽部札幌定

期招待事業  
5月14日(水) 18:10～20:00  
エルプラザ2階18人用会議コーナー  
担当/出席者/事務局長他14名  
第2回札幌くらぶ運営会議を開催し、「平成26年度札幌くらぶ総会議案」「平成26年度札幌くらぶ総会議案」について協議しました。

●総会議案書印刷・製本作業  
5月26日(月) 10:00～11:00  
担当/出席者/事務局長ほか4名  
平成26年度札幌くらぶ総会議案書の印刷・製本作業を行いました。

●平成26年度札幌くらぶ総会議開催  
5月31日(土) 10:30～12:20  
札幌コンサートホール2階大会議室  
担当/出席者/事務局長ほか20名  
会員115名(委任状を含む)の出席と来賓として小沢札幌専務理事、市川事務局長が出席して開催しました。

の出席と来賓として小沢札幌専務理事、市川事務局長が出席して開催しました。

### ●札幌市内中学校吹奏楽部札幌定

期招待事業  
5月31日(土) 14:00～16:00  
札幌コンサートホール大ホール  
担当/佐藤事務局次長

第569回定期演奏会B日程に、西岡北、藤野の2中学校、生徒51名、引率3名、計54名を招待しました。

●第1回札幌くらぶ交流会を開催  
5月31日(土) 16:30～18:30  
テラスレストラン・KITA  
担当/参加者/事務局長ほか20名  
会員と札幌楽員など約45名が参加して開催されました。

●第3回札幌くらぶ運営会議開催  
6月11日(水) 18:00～20:10  
エルプラザ4階男女共同参画研究室3番  
担当/出席者/事務局長他12名  
第3回札幌くらぶ運営会議を開催し、「平成26年度活動計画の実施」「運営スタッフの業務分担」などについて協議しました。

●札幌市内中学校吹奏楽部札幌定  
6月28日(土) 14:00～16:00  
札幌コンサートホール大ホール  
担当/佐藤事務局次長

第570回定期演奏会B日程に、石山、新陵の2中学校、生徒53名、引率2名、計55名を招待しました。

## 編集後記

◆先日の道新投稿欄に素敵な話が載っていた。札幌定期のシートを祖父から孫に継承したというのだ。若い世代に札幌を聴いてもらい、引き継いでもらうために私たちに何が出来るか考えて行きたい。(静)

◆7月はP.M.Fの季節、今年全部で8公演のチケットを買った。マチネを楽しんだあとは、友人と大通公園のピアガーデン行きが、お決まりコース。7月の札幌は何と素晴らしいことか。(習)

◆5月の演奏会も無事終わりましたが、ほっとする間もなく次の曲を練習しています。11月には、石川さんをお招きして、チェロ協奏曲です。どうぞ皆様聴きにきてくださいませ。(白旗)

◆スタバート・マーテルの全曲演奏会すく良かつたな。このようなクラシックの中でも特に古い時代の曲を専門に扱っている名曲BARがあります。その名もずばり「OLD CLASSIC」。札幌の芸術レベルは高い。(上野)